

教科目名 保健・体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 2年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 42時間)

担当教官 : 大庭恵一, 川内谷一志, 後藤征士

授業の概要		
<ul style="list-style-type: none"> スポーツテスト(運動能力テスト・体力診断テスト)を実施して, 個人の体力を把握させる。 スポーツテストに含まれる運動技能を個人技能(陸上競技, 水泳), 対人的技能(ソフトテニス, 卓球, 柔道), 集団的技能(バレーボール, サッカー, バスケットボール)の各種目を, 全体技能(ゲーム)が遂行可能となるように行う。保健は, 1年次に引き続いて健康管理ができるように内容を厳選する。 		
到達目標		大分高専目標(A1)(B1), JABEE目標(a)(c)
体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。さらに, 基礎体力の維持・向上を目的とする。		
回	授業項目	内容
1-3	1. バレーボール	個人技能の習得。男女混合チームもあり, 班編成に留意する。審判法の確認。
4,5	2. スポーツテスト	{運動能力テスト(4種目), 体力診断テスト(4種目)}を正確に測定する。
6-8	3-1. ソフトボール(男子) 3-2. ソフトテニス(女子)	ゲームによる技能の向上と審判法の習得。 ストローク, サーブなどの個人技能の習得。
9,10	4. 水泳	遠泳に重点を置いたクロール, 平泳ぎの習得。
11,12	5. 保健	「現代社会と健康」について学習する。
13	前期期末試験	筆記による保健のテストを行う。
14	前期期末試験の解答と解説	保健のテストの解答と解説を行う。
15,16	6. 陸上競技	ハードルの基本技能を習得し, 80mハードルのタイムを測定する。 女子はハードルを低くして指導する。
17-19	7-1. サッカー(男子) 7-2. ソフトテニス(女子)	個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法の習得。 前期の個人の技能をさらに向上させ, ダブルスのゲームを学習する。
20-22	8. バスケットボール	個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。
23,24	9. 柔道	個人技能の習得。約束練習や簡易試合を行い, ルール・審判法の習得。
25,26	10. 保健	「交通事故およびその予防策」「集団の健康」について学習する。
27	後期期末試験	筆記による保健のテストを行う。
28	後期期末試験	保健のテストの解答と解説を行う。
履修上の注意	授業は時間厳守とする。	
教科書	・高石昌弘, 小沢治夫ほか, 「現代保健体育」, 大修館。	
参考図書	・豊田博, 丸山吉五郎ほか, 「最新スポーツルール」, 大修館。 ・和唐正勝監修, 「図説現代保健」, 大修館。	
関連科目	なし	
評価方法	最終成績 = $0.8 \times (\text{授業で行った各種目の実技点の平均}) + 0.2 \times (\text{保健テスト点})$ * 学年評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。 * 授業態度により, 評価点からその20%を上限として減点を行う。	